

アニメーション！絵が動き出す

1-5

～ゾートロープをつくろう

対象学年：小学1年以上

1. ねらい

ゾートロープは回転のぞき絵とも言われ、止まった絵を素早く入れ替えることで、まるで動いているかのように見せるものです。

これにより映画やアニメーションの原理を体感してみましょう。

2. 用意するもの

紙カップ、ストロー、紙



3. つくりかた

- ① 紙カップの周りに同じ間隔でスリットを開けます。
- ② 紙カップの真ん中にストローを貼り付けます。
- ③ 絵を描いた紙を紙カップの内側に入れます。
- ④ ストローを持って回しながらスリットをのぞきます。
- ⑤ 絵が動いて見えます！

4. わかること

人間が光や光景を見たとき、それが消えた後もそれまで見ていた光や光景が残って見えることを残像効果といいます。

そのため、素早く絵を切り替えることで前の絵と今の絵がつながって見えるようになります。

前の絵と今の絵に小さな違いがある場合、仮現運動というものが起こり、絵が動いているように見えます。

それを利用したものが映画やテレビの映像になります。

5. 注意事項

ハサミを使いますので気を付けましょう。